

# 子どもたちに希望を

教育  
全国署名に  
ご協力  
ください

## 子ども1人育てるのに こんなにかかる教育費

すべて国公立でも約**800万円** (学習費総額)  
高校から私立だと約**1200万円** (下宿費・住居費等は除く)

	公立	私立
幼稚園	約 66万円	約146万円
小学校	約183万円	約854万円
中学校	約135万円	約389万円
高校	約116万円	約289万円
大学	約273万円	約528万円

※学習費総額(授業料、その他学校納付金、学校外活動費などを含む)  
(文部科学省「子供の学習費調査(H24)」  
日本学生支援機構「学生生活調査報告(H24)」)



## 国の責任で30人学級を！

不十分ながらも小学校2年生まで進められた35人学級が、安倍政権でこの2年間ストップしています。

国の責任で、正規教職員を増やして30人学級となるように求めていきましょう。

## ゆきとどいた教育をすすめる会

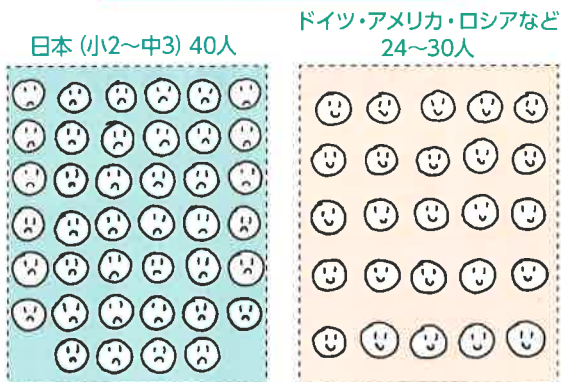
全教／全国私教連／教組共闘連絡会  
全国私学父母懇・私学助成をすすめる会連絡会／全国各地のすすめる会

# 国の責任で教育条件の整備を

## 国の責任で30人学級実現を

1クラスの学級編制標準は、小中学校は1980年に「40人」と定められてから30年以上（高校は1993年以来20年以上）も改善されていません。

### 1クラスの生徒数（学級編制標準）



（文科省「教育指標の国際比較」2013年度版）

就学前から  
大学までの

## 教育の無償化は実現できます

### 4年連続最下位を何とかして！

計画的に教育予算を増やしましょう



### 「高校無償化」の復活を！

OECD諸国の大半は高校授業料は無償であり、所得制限を導入している国などありません。せっかく前に進みはじめた教育の無償化の流れを後戻りさせることは許されません。

日本も今後10年間でOECD並に教育予算を増やしていきましょう。  
高校無償化（公私の授業料、学校納付金などを含む）…約1兆円  
国公立大学授業料無償化…約2.2兆円  
（国立76万人×53万円+私立220万人×81万円）  
高校・大学の無償化は入学金を含めても3.3兆円で実現可能です。  
8.5兆円の残りの5兆円余で就学前からの無償教育だけでなく、30人以下学級、高校生・大学生への「給付制奨学金」も可能です。

## 障害児学校が全国で不足しています

この10年間で障害児学校の在籍者は約3万6000人増えているにもかかわらず、学校建設がすすんでいません。

1つの教室をカーテンで仕切って2教室分にしたり、特別教室を全部つぶしたり…。障害児学校だけに「設置基準」がないことが大きな原因です。



### ★設置基準がないから…全国状況★

- ・雨の日の体育館の授業はギューギューづめで「なるべく動かない」体育の授業に、また、音楽も「なるべく音を出さない」音楽の授業にならざるを得ません。
- ・ほとんどの特別教室は普通教室になり、トイレもまったく足りません。教員には給食を用意できない学校もあります。

## 「学費の公私間格差」をなくそう

私立高校では、高等学校等就学支援金で授業料の一部が補助されていますが、無償化にはほど遠い状況です。

ヨーロッパでは、私学への公費支出によって、保護者負担がほとんどありません。

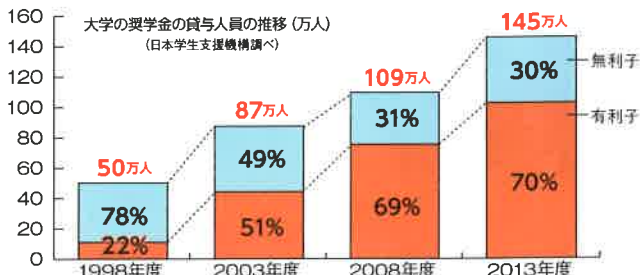
### ヨーロッパの私学は学費無償が主流



（図表で見る教育OECDインディケーター2009）その他より

## 「奨学金は返済不要の給付制」が世界の常識。貸与制＝教育ローン（借金）はやめて！

無利子を前提にしていた日本の奨学金はいつの間にか有利子が主流に



1998年度には無利子と有利子の比率が8：2だったのに5年後にはほぼ同率となり、さらに5年後には3：7の比率のまま

毎月10万円の奨学金を4年間借ると卒業時の借入総額は480万円に。でも利子がついて返済総額は650万円に！

